



生き物のおうちを考えよう

第4回 楽がきくらぶ (9月9日)

あやま文化センターで、第4回 楽がきくらぶを行いました。

この日は「生き物のおうちを描こう」と題して、ハムスターやメダカ、鈴虫、トンボなど、さまざまな生き物を観察し、その住まいを想像しながら画用紙に描きました。子どもたちは実際に生き物に触ったりえさをあげたりして楽しくふれあいながら、想像力を養うひとときとなりました。



▲ハムスターにえさをあげる様子



▲保護者と仲良く相談しながら色を選んで描きました。

新しく 19 品目が仲間入り

伊賀ブランド認定証授与式 (8月31日)

ハイトピア伊賀で、伊賀ブランド認定証授与式が行われました。

今回は 14 事業者、19 品目が新たに認定されました。認定された品物には認定ロゴマークがつけられ、「IGAMONO」として認定されます。

認定証授与式のあとは記念撮影が行われ、認定を受けた事業者は今後の展開に意欲を見せていました。



▲事業者には認定証とロゴマークの書かれたタペストリーが手渡されました。



▲チームに分かれて作戦を立てながら得点を競いました。

▶「ランプ」と呼ばれる器具からボールを転がす様子



パラリンピック競技を体験

ニュースポーツ連続講座 ボッチャ教室
(9月10日)

大山田小学校体育館でニュースポーツ連続講座が行われました。

今回はボッチャの講習が行われ、31人が参加しました。ボッチャは、的となるボールに自分のチームのボールを投げて相手より近づけるスポーツです。

参加者は「ボールを的に当てて動かすなど、作戦がいろいろあって頭を使うので面白い」と話していました。

早い! おいしい! ガス炊飯器で新米を炊こう!



「はじめちょろちょろ〜なカッパッ」

火で炊く

それがおいしさの
秘訣です。

★ガス炊飯器の良いところ

強火と火加減
弱火で始まり一気に強火で沸騰まで。
絶妙の火加減だからおいしい!

包み込む
火の力が対流を起こし、釜全体を
高温で包み込むからおいしい!

短時間
なんてったって、
火で炊くから早い!



上野ガス

伊賀市上野茅町2706
☎0595-21-3611

http://www.ueno-gas.co.jp

※掲載広告について不明な点は直接広告主へお問い合わせください。



収穫の秋！

あおやまキャラバン先生と一緒に稲刈り体験 (9月10日)

高尾地内の田んぼで稲刈り体験を行いました。
今回稲刈りをしたのは、5月に田植え体験で苗を植えた田んぼです。

子どもたちは、あおやまキャラバン先生のアドバイスを
受け、鎌を使って稲を刈り取りました。

そのあと、日光や風で稲を乾燥させるため、刈り取った
稲をわらでくくって「はさがけ」にしました。

最後は昔遊び体験として、子どもたちは広場で竹とんぼ
を飛ばして遊びました。

▶あおやまキャラバン先生の指導のもと、手作業で稲を刈り取りました。



◀保護者に抱えてもらって稲をはさがけにする子どもの様子

本紙6ページの「芭蕉祭」について、
わかりやすく解説します。



こども広場

「松尾芭蕉と“芭蕉祭”」

誰の俳句かわかるかな？

①さまざまの

こと思い出す桜かな

これは誰が作った俳句かわかりますか？

では、次の句はどうでしょう。

②古池や

かわず飛び込む水の音

この句ならわかる人も多いでしょう。
どちらも松尾芭蕉、つまり芭蕉さんが
作った句です。①の句は、句碑と言っ
て石に文字を彫ったものが上野公園の
お城の横にあります。機会
があればぜひ
見に行ってみ
てください。



伊賀で生まれ育った「芭蕉さん」

芭蕉さんは、今から約370年前の
江戸時代に伊賀で生まれ育ちました。

芭蕉さんは伊賀だけでなく日本中で
有名です。日本中の小中学生が、学校
で芭蕉さんのことを習います。俳句を作
る人は今も昔もたくさんいますが、芭

蕉さんが特に有名な

のは、芭蕉さんが残した句や考え方が
特別で価値があることをみんなが認め
ているからです。

芭蕉さんは日本人にだけ好かれてい
るわけではありません。世界中にファン
がいて、「日本で一番有名な詩人」と考
える人もいます。

芭蕉さんの命日に行われる「芭蕉祭」

日本を代表する詩人である芭蕉さん
のふるさとで暮らす私たちは、その思
いを受け継いでいきたいものです。

毎年、芭蕉さんの命日である10月12日
には、上野公園の俳聖殿前で「芭蕉祭」
が行われます。市内の小中学校では夏
休みに俳句を作りますね。皆さんが作っ
た俳句の中で代表となった句は、芭蕉
祭の中で披露されます。

また、今年の芭蕉祭では、小学生以
下の皆さんの特入選句を風船につけて
「芭蕉さんに届け」と空へ飛ばします。
皆さんの句が芭蕉さんに届くといいで
すね。

【問い合わせ】 文化交流課

☎ 22・9621 FAX 22・9694

お知らせ拡大版

お知らせ

催し

募集

まちかど通信

コラム

図書・救急など